

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおかば学園			
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～	2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～	2026年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が安心して楽しく通える環境設定や生活空間と、保護者の要望や子どもの特性に寄り添った支援の提供。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内の環境を有効活用し、新しい活動も取り入れながら偏りのない療育支援プログラムを作成している。</li> <li>より良い支援に繋がるよう、活動前の打合せや活動後の振り返り、定期的な会議等を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種間での連携の強化や、職員の専門性向上を目指し、日々の支援の充実に繋げていく。</li> </ul>
2	保護者との情報共有、連携を大切にし、子どもだけでなく保護者にも寄り添った支援の提供。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や日々のやりとり、年2回の懇談、年3回の保護者会等で子どものことや支援についての情報共有を行っている。</li> <li>活動内容の様子だけでなく日頃の様子等も分かりやすく丁寧に伝えられるよう心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃のやりとりだけでなく、保護者会や懇談、親子行事を開催する中で保護者との交流を更に深めていく。</li> </ul>

3	保護者やきょうだい児が参加できるイベントの開催。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の親子行事を開催する際に保護者だけでなくきょうだい児も参加できるよう内容や開催時間等の工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族全員が楽しめるような行事内容の工夫を行っている。</li> </ul>
---	--------------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の障害児支援事業所との連携および外部ネットワーク構築が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ネットワークへの参画と外部連携の強化が足りていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や地域部会などへの積極的に参画していくことで、他事業所との連携を深めていく。</li> </ul>
2	活動時間外での施設環境を活かした多様な遊びの提供不足。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由時間の人員配置が手薄になるため、安全管理上、活動範囲が限定的になってしまい、子ども達の過ごし方が画一的になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境設定や遊び方の見直しを行う。</li> <li>・机や椅子の配置だけでなくコーナー分けなど子ども達が見てわかりやすい環境設定の工夫を行う。</li> </ul>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
放課後等デイサービスおかば学園		2026年3月31日				46名		36名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		環境・体制整備	1	35	1			0	0
	2	31	2	1	2				
	3	33	2	0	1				
	4	32	3	0	0	・経年劣化は否めない…	・引き続き、生活空間の設備、環境設定等をこまめに見直し、子ども達が安全に過ごすことができるよう努めていきます。		
適切な支援の提供	5	34	1	1	0				
	6	35	0	0	0				
	7	33	2	1	0	・細かく分析して考えて作っていただけてます。	・引き続き、一人ひとりに合った放課後等デイサービス計画の作成に努めます。		
	8	30	2	1	2				
	9	34		1					
	10	33	0	1	2	・買い物学習(店舗へ行く)勉強を増やして欲しい。調理もして欲しい。(活動)	・様々な療育活動内容が提供できるよう工夫していきます。		
	11	10	2	7	17				
保護者への説明等	12	34	1	0	0	・きちんと説明されて、わかりやすく良かったです。	・引き続き、丁寧な説明を心がけ、安心して利用いただけるよう努めます。		
	13	34	0	1	0				
	14	24	3	2	6				
	15	34	0	1	0	・いつでも相談に乗ってくださる雰囲気、親としても安心できています。 ・毎回どんな様子だったのか、くわしく伝えて頂いています。	・引き続き、保護者の方との関わりを大切に、連絡帳や送迎時等に情報共有を行ってまいります。		
	16	31	1	1	2	・いつでも相談に乗ってくださる雰囲気、親としても安心できています。	・引き続き、懇談や面談を定期的実施してまいります。		
	17	34	0	1	0	・いつでも相談に乗ってくださる雰囲気、親としても安心できています。	・引き続き、安心して利用いただけるよう努めます。		
	18	30	0	2	3	・家族参加のイベントが増えてとてもうれしいです。 ・きょうだいも参加できるようになって交流の場に行きやすくなったのでとてもありがたいです。	・引き続き、皆様に楽しんでいただけるようなイベント等の開催ができるよう努めます。		
	19	33	0	1	1				
	20	31	0	0	0				

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0	・とてもいい居場所になっています。	・引き続き、子ども達にとって安心して楽しい場所となるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	1	・我が子の意思疎通問題… ・めちゃくちゃ楽しんでると思います。 ・前日から楽しみな様子です。風邪などで行けなくなった時はとてちくやがっています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0		

事業所名		放課後等デイサービスおかば学園		公表日 2026年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋が複数あるが、利用定員や時間帯に応じて使用する部屋を調整し安全に見守れるようスペースを確保している。	引き続き、子ども達が安心して過ごせる空間、又安全に遊べる場となるようスペースを確保し活用していくよう努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		一日の利用人数に対し職員配置が適切になるよう調整している。	引き続き、こどもの人数や状態、活動内容によって適切な職員数の配置ができるよう、日々職員同士の連携を深めていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子ども達にとってわかりやすく構造化された環境になるよう工夫している。	引き続き、子ども達が見通しをもって楽しく過ごせる空間となるよう環境設定に配慮していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		グループの人数や活動内容に合わせた環境設定を行い、清潔で過ごしやすい環境になるよう配慮している。	引き続き、子ども達が快適に過ごせる空間となるよう清掃や整理整頓に努めていく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの状況に応じて個別で使用するができる環境となっている。	引き続き、必要に応じて各部屋やスペースを子ども達が使用できるよう環境設定に努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の引継ぎや月例会議、職員面談を行い情報共有、業務改善に努めている。	全ての職員が目標をもって日々働きやすくするために話し合いや面談等を行い業務改善に努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価後には、会議等で共有を行い、内容によっては検討し改善に努めている。	引き続き、保護者の意見を把握しよりよいサービスが提供できるよう努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の会話や面談を行い意見を収集している。内容によっては会議で検討し業務改善につなげている。	引き続き、職員同士のコミュニケーションを大事にし意見交換をすることで業務改善につながるよう努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は取り入れていない。	今度の検討課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で様々な内容の研修が開催され、積極的に参加している。	引き続き、法人内外での研修を受講する機会を作り職員の資質の向上を図っていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		作成する前に保護者と個別懇談を行い日頃の様子や課題点、保護者の要望を踏まえて計画作成を行っている。	引き続き、子どもと保護者のニーズを把握しよりよい計画の作成に努める。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、保育士、児童指導員、理学療法士と様々な視点での計画作成を行っている。	引き続き、職員全体で話し合いを行いながらよりよい支援を行っているよう努める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容を職員間に共有したうえで、こどもの発達状況や計画書の内容を踏まえて活動設定を行っている。	引き続き、支援計画を全体に共有するだけでなく、支援の意図を話し合い全員が共通の支援を行えるよう努める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録や引継ぎ簿等の情報をもとにこどもの状況を確認している。	引き続き、日々の子どもの様子を記録し、こどもの情報を確認していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子ども一人ひとりに応じた支援計画を作成している。	引き続き、放課後等デイサービスガイドラインに沿って支援計画を作成していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		こどもの発達や特性に応じたプログラムを各グループで話し合い立案している。	引き続き、各グループや事業所全体で話し合いを行いながら活動プログラムを作成していく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動内容に偏りが出ないように月ごとに活動内容を決めている。又、新しい提案も行っている。	引き続き、活動プログラムが固定化しないよう工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成している。	引き続き、個別活動や集団活動を組み合わせた支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前に職員の配置や動きの確認を行い、活動の詳細の話し合いを行っている。	引き続き、事前に情報共有や打ち合わせを行いよりよい活動となるよう努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		退所後に一日の振り返りを行っている。また、当日出勤していなかった職員とも情報共有を図る為、引継ぎノートを作成し、記入している。	引き続き、振り返りを行う中でこどもの様子の共有や次の活動に向けた反省などを話し合いよりよい支援につなげていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動内容や様子、そのほか連絡事項などの記録入力を行っている。支援の検証・改善の必要性を感じた際はその都度検討し改善に努めている。	引き続き、日々の支援の記録をとり検証、改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを作成し、モニタリング会議を開催することで支援の見直しを行っている。	引き続き、定期的なモニタリングを行い支援の見直しを行うことでよりよい支援に努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせ活動や支援を実施している。	引き続き、「4つの基本活動」を組み合わせ活動、支援を行う。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動での場面だけでなく日常的な場面でも視覚支援を用いて自己選択につながる支援を行っている。	引き続き、こどもが自己選択できる支援や機会の提供を行っていく。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議には積極的に参加している。	引き続き相談支援事業所と連携を図り、サービス担当者会議が行われた際には積極的に参加していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、関係機関と連携して支援を行う体制は整えている。	引き続き関係機関と連携を図るための体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		下校時刻、利用者一覧を各学校に配布する、その日のこどもの様子等を向う等情報共有、連絡調整を行っている。	引き続き、学校との情報共有や連絡調整を密に実施していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用していた児童発達支援センターとは毎年引継ぎを行い情報共有、相互理解に努めている。	・引き続き、就学前の情報共有に努めていきます。当施設の児発利用でないこどもに関する情報共有に関しては検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			対象児童が小学校1年生から5年生までの為実施していません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと連携を図っている。	今後も研修を受ける機会がある際には積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後の検討課題とする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			引き続き、協議会等へ積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的な個別懇談以外でも連絡帳や送迎時の会話等日々保護者と連携を取り発達状況や課題について共有しています。	引き続き、日頃からの情報共有を大切にし保護者の方とともに状況や課題について共通理解ができるよう努める。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		親子行事等の保護者の方が参加される行事や個別懇談などの機会を通して相談や助言を行っている。	引き続き保護者の方とともに検討する機会を設ける、または必要に応じて助言を行う。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に説明を行っている。	引き続き、利用契約時に丁寧に説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成、更新する前には、意向を確認する機会を設けており、確認したうえで、計画書を作成している。	引き続き、子ども、保護者の意向を確認する機会を設ける。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容のや趣旨について保護者の方が理解しやすいよう丁寧な説明を心掛けている。	引き続き、児童発達支援計画書に基づいた支援内容の丁寧な説明を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談以外でも連絡帳や送迎時の会話、電話等で情報共有を行ったり必要に応じて助言や支援を行っている。	継続して保護者の方の相談に対して適切な対応と助言を行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		親子活動を実施し保護者やきょうだい、子ども達が楽しめる行事を行っている。又、保護者会を開催し保護者同士の交流の場を設けている。	引き続き、親子行事や保護者会を開催し交流の機会を提供していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れ受付に関する体制については、利用契約時に説明を行っている。保護者の方々からの要望等があった際に適切にお応えできるよう努めていく。	引き続き、相談や申入れがあった際には、迅速かつ適切に対応できるよう努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のおたよりや写真販売、当法人のHPにて活動内容の発信を行っている。又、行事予定の配布や行事ごとのおたよりを配布している。	引き続き、おたよりの発行やHPを活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等、保護者と情報共有を行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに関する研修を実施し、業に係る個人情報の取り扱いを徹底している。	引き続き、個人情報の取り扱いは徹底する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳や送迎の際に保護者の方に日々の様子を伝えている。また、普段と違った様子が見られた際には、電話連絡等を行い細かく情報共有を行っている。	引き続き、適切な方法での意思疎通や情報伝達への配慮に努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民の方に参加いただける行事は実施できていない。	地域住民の方に参加いただく行事等は今後の検討課題とする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種のマニュアルを作成し職員間で共有している。家族等については、重要事項や利用の手引きに記載し周知を図っている。	マニュアルについては随時見直しを行い、発生を想定した訓練を実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)を策定し、定期的に避難訓練を実施している。	引き続き、非常災害の発生に備え、定期的な訓練を実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や利用開始前に保護者から聞き取りを行い、状況の確認と職員間での周知、必要に応じてフローチャートの作成を行っている。	・引き続き、職員全体が状況を把握し対応を行っていくよう心掛けます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書に基づき対応を行っている。給食以外で食物を摂取する可能性がある際（行事等）は保護者の方に確認をとり対応している。	引き続き、子どもの状況を事前に保護者に確認し職員間で共有したうえで、対応を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施している。	引き続き、安全管理が十分にされた中で支援を行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡帳等を活用し、取り組み内容について周知している。	引き続き取り組み内容について周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案が発生した際は報告書を作成し、職員全員で周知し再発防止に努めている。	引き続き、虐待防止、不適切支援の不発生を徹底する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員、権利擁護・虐待防止に関する研修に参加している。	引き続き、虐待防止、不適切支援の不発生を徹底する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合については、組織的な決定としており、事前に保護者の方の説明、了承を得たうえで児童発達支援計画書に記載している。	引き続き、適切に対応する。	